令和７年度ひろしまサンドボックス広報業務
公募型プロポーザル選定委員会議事要旨

１　審査基準に係る審査

項　　目		内　　容
1	日　　時	令和７年２月 10 日（月）
2	場　　所	書面審査のため審査員に送付。
3	出席委員	商工労働局イノベーション環境整備担当部長 総務局広報課デジタル・ディレクター 商工労働局商工労働総務課長 商工労働局イノベーション推進チーム担当課長（イノベーション環境整備担当） 商工労働局イノベーション推進チーム担当課長（地域産業デジタル化推進担当）
4	議　　題	令和７年度ひろしまサンドボックス広報業務公募型プロポーザルの審査基準の審査
5	担当部署	商工労働局イノベーション推進チーム
6	開催方法	書面審査
7	議事内容	令和７年３月 26 日（水）に開催する「令和７年度ひろしまサンドボックス広報業務に係る公募型プロポーザル審査会」において、提案者からの提案内容の審査を行う上での基準について審査を実施。審査の結果、案のとおり議決。

２　プロポーザル審査会

項　　目		内　　容
1	日　　時	令和７年３月 26 日（水）9:00～10:30
2	場　　所	オンライン
3	出席委員	商工労働局イノベーション環境整備担当部長 総務局広報課デジタル・ディレクター 商工労働局商工労働総務課長 商工労働局イノベーション推進チーム担当課長（イノベーション環境整備担当） 商工労働局イノベーション推進チーム担当課長（地域産業デジタル化推進担当）
4	議　　題	令和７年度ひろしまサンドボックス広報業務公募型プロポーザルの候補者の選定について
5	担当部署	商工労働局イノベーション推進チーム
6	開催方法	参集（オンラインにより実施）
7	議事内容	提出された企画提案書を基にプレゼンテーション審査を行い、選定委員会において審査の上、得点が最上位となった提案者を最優秀提案者として選定した。 **１　提案者（最優秀提案社：◎）** Ａ社　株式会社広島リビング新聞社（◎） Ｂ社　株式会社広島経済研究所 **２　各委員の主な評価・選定理由** **【Ａ社】** ○　サンドボックス事業の特徴を熟知した上で、ペルソナが網羅されており、それぞれのバックストーリーも想定するなど、詳細なペルソナ設定に基づき、具体的な広報戦略が示されている。 ○　現行のサムネイルやタイトルの問題点をよく分析できており、目を引くものが提案されている。 ○　提案内容は仕様書を十分に理解した上で構成されており、業務遂行体制も高く評価できる。プロモーション方法や KPI 設定には現実性が感じられ、意欲的な姿勢がうかがえる。 ○　具体案は提示しているが、成果を検証することまで想定されていない。PDCA サイクルで業務を改善する具体策も検討して欲しい。 **【Ｂ社】** ○　漫画の活用やテーマを設定した取材の企画化など、これまでにない切り口であり、新たな手法による認知度向上に期待したい。 ○　県内企業とのネットワークが強く、柔軟な取材対応が期待できる。 ○　ペルソナ設定が抽象的で、カスタマージャーニーの具体性に欠ける。

		○　提案の経済紙を通じた企業情報の発信は安定感があるものの、ＳＮＳを通じた取組など、一般的な手法であり、既存の枠を打ち破る創意工夫に満ちた提案には不足を感じた。